第 006 講 ディスコースマーカー① 追加・具体化

学習目標

到達目標：追加と具体化を区別し、ディスコースマーカーの働きを前後の情報から説明できるようになる。

解説

ディスコースマーカーは、文と文の関係を考えるための手がかりとなる表現だ。今回確かめるのは、情報を**追加**する働きと、一般的な説明を**具体化**する働きである。

- **探す**：つながりを示しそうな表現を見つけ、その前後の文を読む。
- **比べる**：後の文が、同じ話題に別の情報を加えているのか、前の一般的な説明に当てはまる実例を示しているのかを確かめる。
- **決める**：表現の意味と前後の内容が一致する場合に、その働きを判断する。

標識だけを暗記しても、文の役割は確定しない。同じ表現がいつも一つの働きだけをするとも限らない。

©ミライコーチング

英文

At Maple High School, a small cooking club helps students make simple lunches without following difficult recipes. The club keeps easy recipe cards in the home economics room, and each card shows the food and steps in clear pictures. Students can read the cards before choosing a meal, so they know what to prepare at home. In addition, club members hold short cooking sessions after school for students who want to try the steps with a friend. During these sessions, beginners can ask questions and practice using familiar kitchen tools in a safe place. The cards give students information, and the sessions give them a chance to use it with other people.

The club shows that students can use different foods in the same recipe. For example, one card suggests using cucumber slices instead of lettuce in a simple sandwich. This change keeps the steps easy, and students can use a vegetable from home. Members discuss other small changes during the cooking sessions, and students suggest different foods for the same meals. After a session, students may take a card home and make the lunch again with their families. Through the cards, practice, and flexible ideas, the club helps beginners feel ready to prepare their own food.

語注：home economics room＝家庭科室／session＝実習・活動の回／familiar＝使い慣れた／suggest＝提案する／instead of ～＝～の代わりに／flexible＝柔軟な、融通の利く

©ミライコーチング

問題

問 1

第 1 段落で、すでに述べた取り組みに別の情報を加える文の**文頭 4 語**を、本文のとおり抜き出せ。

問 2

問 1 で特定した文では、それまでの説明にどのような情報が新しく加わっているか。日本語で答えよ。

問 3

第 2 段落で、前の一般的な説明を具体例で示し始める文の**文頭 4 語**を、本文のとおり抜き出せ。

問 4

問 3 で特定した具体例は、どのような一般的内容を示すために挙げられているか。日本語で答えよ。

問 5

第 1 段落の「追加」と第 2 段落の「具体化」は、前後の情報を結びつける働きがどう異なるか。本文に即して、一つの比較答案として説明せよ。

問 6

追加された情報や具体例を踏まえ、本文全体が料理の初心者について伝えている中心内容を日本語で答えよ。

©ミライコーチング

解答・解説

問 1

模範解答

In addition, club members

第 1 段落では、前半でレシピカードを置く取り組みが説明され、その後、部員が放課後に調理実習を開くことが述べられる。カードの説明を別の言葉で繰り返しているのではなく、別の取り組みを付け足しているため、**In addition** の文が該当する。
In addition, club members hold short cooking sessions after school for students who want to try the steps with a friend.
文頭から In（1 語）、addition,（2 語）、club（3 語）、members（4 語）までを抜き出す。**カンマは原文どおり残し**、標識の 2 語だけで止めない。

問 2

模範解答

クラブの部員が放課後に短い調理実習を開き、生徒が友達と一緒に調理の手順を試せるという情報。

追加前にあるのは、カードで食材や手順を知るという説明である。一方、club members hold short cooking sessions after school は、実際に試す場を新たに示している。さらに次の文にも、質問したり道具を使って練習したりできると書かれている。
ここで答えるのは標識の位置ではなく、**何が新しく述べられたか**である。「情報を追加している」だけでは追加された内容がわからず、カードの説明を言い換えただけの答案も本文に合わない。

問 3

模範解答

For example, one card

第 2 段落は、まず「同じレシピでも違う食材を使える」と一般的に述べる。続く文では、サンドイッチの材料を入れ替える一例を紹介する。前の説明に当てはまる実際の選び方なので、ここでの **For example** は具体化を導く手がかりと判断できる。
For example, one card suggests using cucumber slices instead of lettuce in a simple sandwich.
文頭から For（1 語）、example,（2 語）、one（3 語）、card（4 語）までを抜き出す。標識だけの **For example** は指定された 4 語に足りない。

問 4

模範解答

同じレシピでも、使う食材を別のものに変えられるということ。

具体例に先立つ students can use different foods in the same recipe が対象となる一般的な説明である。その次の文は、サンドイッチのレタスをキュウリに替える場面を示しているので、この一般的な説明に当てはまる。
「レタスの代わりにキュウリを使うこと」と答えるだけでは、具体例そのものを言い直したことになる。求められているのは、その例が示す**一段広い内容**である。

問 5

模範解答

追加はカードの説明に別の活動の情報を加えて説明の範囲を広げる働きであり、具体化は食材を変えられるという一般的な説明を実例によってわかりやすくする働きである。

両者はどちらも説明を進めるが、前後の結びつき方が違う。第 1 段落では、カードの利用と調理実習は**別々の活動**である。一方、第 2 段落では、材料の交換は「食材を変えられる」という**同じ内容に当てはまる一例**である。

関係	本文中の情報のつながり
追加	カードの説明 → 別の活動も紹介し、扱う情報を広げる
具体化	食材を変えられるという一般的説明 → 材料変更の実例で確かめる

ミライポイント！

追加か具体化か迷ったら、後ろの文が「別の情報」を増やすのか、「前の一般的な説明の一例」を示すのかを比べよう。標識は判断を始める目印であって、答えそのものではない。

問 2 と問 4 はそれぞれの**内容**を答える問題だった。ここでは内容を二つ並べ直すのでなく、情報を広げる働きと、一般的な説明を例で示す働きの**差**を一つの文で表す。

問 6

模範解答

料理クラブは、わかりやすいレシピカード、実習の機会、食材を工夫する考え方を通じて、初心者が自分で簡単な昼食を作れるよう手助けしている。

第 1 段落の冒頭では、クラブが生徒の簡単な昼食づくりを助けることが示され、カードと実習という二つの支援方法が説明される。「初心者」は同段落の実習の説明で登場する。第 2 段落では食材を替える工夫や家庭で再び作る可能性が加わり、末文でカード・練習・柔軟な考え方を通じた初心者への支援がまとめられる。
そのため「料理クラブ」という話題名だけでも、「レタスをキュウリに替えること」という例だけでも、二段落全体を表せない。**誰が、どのような方法で、初心者をどう支えているか**が伝わる形にまとめる。

©ミライコーチング

全文の構造分析

本文と同じ英文を、文中の働きがわかるように示す。内側の節・句は **S′・V′・O′** などを英文直下に、外側の文は **S・V・O** などを下段に置く。〈 〉は名詞句・節、〔 〕は形容詞句・節、( )は副詞句・節を示す。**O1 / O2** は第 4 文型の二つの目的語である。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(At Maple High School) [M], 〈a small cooking club〉 [S] helps [V] students [O] make [V′] 〈simple lunches〉 [O′]

[C]

(without following [V″] 〈difficult recipes〉 [O″]) [M′].

〈The club〉 [S] keeps [V] 〈easy recipe cards〉 [O]

(in the home economics room) [M], and 〈each card〉 [S] shows [V] 〈the food and steps〉 [O]

(in clear pictures) [M]. Students [S] can read [V] 〈the cards〉 [O] (before choosing [V′] 〈a meal〉 [O′]) [M], so they [S]

know [V] 〈what to prepare (at home)〉 [O].

(In addition) [M], 〈club members〉 [S] hold [V]

〈short cooking sessions〉 [O] (after school) [M] (for students 〔who [S′] want [V′] 〈to try [V″] 〈the steps〉 [O″]〉 [O′] [M]

(with a friend)〉〕 [M″]).

(During these sessions) [M], beginners [S] can ask [V] questions [O] and practice [V]

〈using [V′] 〈familiar kitchen tools〉 [O′] (in a safe place)〉 [M′] [O].

〈The cards〉 [S] give [V] students [O1] information [O2],

and 〈the sessions〉 [S] give [V] them [O1] 〈a chance 〔to use [V′] it [O′] (with other people)〕〉 [O2].

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈The club〉 shows 〈that students can use 〈different foods〉 (in the same recipe)〉.
S V S′ V′ O′ M′
O

(For example), 〈one card〉 suggests 〈using 〈cucumber slices〉 (instead of lettuce)
M S V V′ O′ M′
O

(in a simple sandwich)〉. 〈This change〉 keeps 〈the steps〉 easy, and students can use
M′ S V O C S V

〈a vegetable 〔from home〕〉. Members discuss 〈other small changes〉
O S V O

(during the cooking sessions), and students suggest 〈different foods 〔for the
M S V O

same meals〕〉. (After a session), students may take 〈a card〉 home and make 〈the lunch〉
M S V O M V O

again (with their families). (Through the cards, practice, and flexible ideas), 〈the club〉
M M M S

helps beginners feel ready (to prepare 〈their own food〉).
V O V′ V″ O″
C′
C

一文ずつの対訳

対訳

At Maple High School, a small cooking club helps students make simple lunches without following difficult recipes.
メープル高校の小さな料理クラブは、生徒が難しいレシピの手順に従わずに簡単な昼食を作れるよう手助けしている。

対訳

The club keeps easy recipe cards in the home economics room, and each card shows the food and steps in clear pictures.
クラブは家庭科室にわかりやすいレシピカードを置いており、どのカードにも食材と手順が見やすい絵で示されている。

対訳

Students can read the cards before choosing a meal, so they know what to prepare at home.
生徒は作る料理を選ぶ前にカードを読めるので、家で何を用意すればよいかがわかる。

対訳

In addition, club members hold short cooking sessions after school for students who want to try the steps with a friend.
さらに、クラブの部員は、友達と一緒に手順を試したい生徒のために、放課後に短い調理実習を開いている。

対訳

During these sessions, beginners can ask questions and practice using familiar kitchen tools in a safe place.
実習中、初心者は質問したり、安全な場所で使い慣れた調理道具を使う練習をしたりできる。

対訳

The cards give students information, and the sessions give them a chance to use it with other people.
カードは生徒に情報を与え、実習はその情報をほかの人と一緒に活用する機会を与える。

©ミライコーチング

対訳

The club shows that students can use different foods in the same recipe.
クラブは、同じレシピでも異なる食材を使えることを示している。

対訳

For example, one card suggests using cucumber slices instead of lettuce in a simple sandwich.
例えば、あるカードは、簡単なサンドイッチでレタスの代わりに薄切りのキュウリを使うことを提案している。

対訳

This change keeps the steps easy, and students can use a vegetable from home.
この変更なら手順は簡単なままで、生徒は家にある野菜を使える。

対訳

Members discuss other small changes during the cooking sessions, and students suggest different foods for the same meals.
部員は調理実習中にほかの小さな変更を話し合い、生徒は同じ料理に使える別の食材を提案する。

対訳

After a session, students may take a card home and make the lunch again with their families.
実習の後、生徒はカードを家に持ち帰り、家族と一緒にその昼食をもう一度作ることもある。

対訳

Through the cards, practice, and flexible ideas, the club helps beginners feel ready to prepare their own food.
クラブは、カードと練習と食材を工夫する考え方を通して、初心者が自分で食事を作る準備ができたと感じられるよう手助けしている。

©ミライコーチング